

令和7年度第5回教育研究評議会議事要録

日時 令和7年9月17日(水) 14時30分から16時17分まで
場所 S-Port 3階大会議室
出席者 日詰、塩尻、金原、二又 (Web 参加)、大石、鈴木、佐藤、大島 (Web 参加)、高倉、大橋、吉川、栗井、田中、鎌塚、延原、小西、遊橋、山本、松本 (Web 参加)、福田、宮原、加藤、西村、江口、平井、水谷、近藤 (Web 参加)、今泉、青木 (Web 参加)、間瀬、小林の各評議員
佐々木哲朗光医工学研究科副研究科長 (原和彦評議員の代理)
欠席者 上藤、原和彦の各評議員
陪席者 飯田、河島の各監事、中村、小野、原正和、横田、峰野の各学長補佐
海老澤、森田の各学長特別補佐

I 前回議事要録の承認

令和7年度第4回教育研究評議会議事要録を原案どおり承認した。

II 審議事項

1. 未来創成ビジョンの実現に向けた重点戦略等について

議長から、未来創成ビジョンの実現に向けた重点戦略等について、資料1により提案があり、また、二又委員及び塩尻委員から、各部局等への重点戦略等の照会結果及び教員を対象とした調査結果を踏まえて修正した箇所など検討過程等の説明があり、審議の結果、原案を一部見直すこととし、これを承認した。

なお、今後にも必要に応じて内容の見直し等が行われることを確認した。

<委員から出た意見等>

・山本委員：資料に記載の天城セミナーハウスは老朽化のため今後の維持管理が難しい状況であるため、資料に掲載するのはいかがか。

⇒議長：資料は現状の静岡大学が保有している施設であるため、掲載に問題はなく、現時点では掲載するが、今後、状況によっては削除する。

・遊橋委員：9つの目標のG2:「レジリエント社会の構築」の説明文について、自然災害に関連する記載は残すべきではないか。

⇒議長：「レジリエント社会の構築」のリード文としては、包括的な内容の説明文としており、詳細説明の資料には、自然災害、防災に関する社会課題を踏まえた本学の強みや取組を記載しているが、いただいた意見を踏まえ、検討する。

・小西委員：本ビジョンの実現に取り組む際の構成員の基本スタンスについて2つ確認したい。1つは、減点法でなく加点法で考えてよいか。すなわち、ビジョ

ンにある項目を全て満たすようには行動しなければならないということではなく、各構成員が得意な事柄で成果を挙げればよい、と考えてよいか。もう1つは、このビジョンの実現は全学プロジェクトであると捉えられ、そうであれば構成員の個々の取組についても逐次全学に了承を得て行うべきという考え方もありうるが、その必要はなく、各部署の構成員が自主的に取組を進めるというスタンスでよいか。

⇒議長：いずれもその考え方でよい。

・福田委員：今後の取組み方について、大学の魅力を高める必要があり、各学部の取組に特色を出す必要がある。各部署がこの目標の流れに沿ってやっていけばよいか。また、大学全体で予算獲得に繋げていくことを考えていただきたい。

⇒議長：ここに掲げられている取組事例を各部署で進めていただければと思っている。予算獲得については、文部科学省の補助事業だけでなく様々な省庁等の補助金事業の情報を提供できるようにしていきたい。

⇒塩尻委員：9つの目標に向け全学を挙げて取組むこととなる。各部署等と協働していくことになる。

・江口委員：今後進めていくにあたり、限られた資源の配分についても検討し、計画に入れていただきたい。

・間瀬委員：資料について写真イラストの混在を解消し、研究内容のアップデートも検討していただきたい。

・延原委員：9つの目標のG1：「ソーシャルウェルネスの実現」に関して、医療・看護・介護に関する社会制度の中に「教育」を入れていただきたい。

・平井委員：グリーン・トランスフォーメーションについて、資料に盛り込んでいただきたい。また、目標達成に向けた取組みを実行していくため、働き方、働く環境の整備も含めた時間の捻出も検討していただきたい。

2. 静岡県立大学アイソトープセンターの利用に関する協定書等の締結について

金原委員から、静岡県立大学アイソトープセンターの利用に関する協定書等の締結について、資料2により提案があり、審議の結果、これを承認した。

3. 国立大学法人静岡大学安全運転管理規則等の一部改正について

興津総務部次長から、国立大学法人静岡大学安全運転管理規則等の一部改正について、資料3により提案があり、審議の結果、これを承認した。

4. 環境報告書 2025 について

佐藤委員から、環境報告書 2025 の作成及び公表について、資料4により提案があり、審議の結果、これを承認した。

Ⅲ 報告事項

1. 令和7年度第4回企画戦略会議（令和7年9月3日）報告

議長から、令和7年度第4回企画戦略会議（令和7年9月3日）について、資料5により報告があった。

2. 令和7年度「共創の場形成支援プログラム（未来共創分野）」に係る申請について

金原委員から、令和7年度「共創の場形成支援プログラム（未来共創分野）」に係る申請について、資料6により報告があった。

3. 防犯カメラの設置について

高倉委員から、キャンパス内の防犯体制の強化を図るため、事務局が設置する防犯カメラの設置について、資料7により報告があった。

4. 令和7年度ハラスメント防止対策研修（オンライン研修）の実施結果について

高倉委員から、令和7年度ハラスメント防止対策研修（オンライン研修）の実施結果について、資料8により報告があった。

5. 教員採用等報告について

議長から、教員採用等について、資料9により報告があった。

6. 学長決裁により改正した規則等について

議長から、学長決裁により改正した規則等について、資料10により報告があった。

Ⅳ その他

1. シンポジウム「レジリエント社会の構築 南海トラフ巨大地震への備え」の開催について

塩尻委員から、シンポジウム「レジリエント社会の構築 南海トラフ巨大地震への備え」の開催について、資料11により案内があった。

2. サステナビリティセンターリスクリング講座の開催について

塩尻委員から、サステナビリティセンターリスクリング講座の開催について、資料12により案内があった。

3. エラスムスプラスプログラムについて

栗井委員から、本学の協定校の一つであるアレクサンドル・イワン・クザ大学のエラスムスプラスプログラムによる教員派遣募集について、案内があった。

以 上